様　式　Ｆ－７－１

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）(平成２７年度)

1．機関番号　３２６０４

2．研究機関名　大妻女子大学

3．研究種目名　基盤研究(C)（一般）

4．補助事業期間　平成２５年度～平成２８年度

5．課題番号　２５３７０２０７

6．研究課題名　近世近代の枠を越えた十九世紀絵入小説史を記述するための書誌学的研究

7．研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
００２２６７４７	タカギ　ゲン 高木　元	文学部	教授

8．研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9．研究実績の概要

『国書総目録』が掲載対象を慶応三年迄の資料とした不見識により、明治初期刊行物の所在情報が著しく得難くなっていたために、明治初期に刊行された絵入本の全貌を調査するには困難な状況が続いていた。しかし、国会図書館の「近代デジタルライブラリー」プロジェクトは、明治以降に刊行された資料を画像公開すると云う方針であり、近世後期板本の近代刷りをも包含して、着々とデジタル化と画像公開とが進捗している。また、国文学研究資料館の「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」も、文学ジャンルに限定しない和本の画像データベース公開へ向けて事業を進展させている。斯様な大規模な国家プロジェクトの進捗は、個人研究としての細やかな研究課題である「絵入小説」の書誌学的研究にも多大の便宜を提供している。

板本書誌学とは、現存する原本の比較検討に拠り〈版・印・修〉の様相を時系列に則して明らかにする学問であり、可能な限り多くの標目を調査する以外に研究方法はない。その意味で、全世界の各機関に所蔵されている諸本の画像データが公開されることに拠って、時間と労力を費やさずして諸本研究が可能になりつつある。

本年度は、実に多くの公開された画像データに拠る恩恵を蒙り、予定していた以上に大量の原本調査が可能になった。しかし、大量のデータを得られたものの、それらを整理するための時間と環境とが整っておらず、多くが未整理のままで残ってしまった。残された一年間でデータ整備と公開とに努めたい。

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。